



今こそ賃上げ、デフレから脱却を！ ＜2014トータルライフアップ全県集会開催＞



2014春季生活闘争方針（抜粋）

スローガン

「すべての働くものの処遇を改善し、
底上げ・底支え・格差是正を実現しよう！」

月例賃金の引き上げにこだわる

- ①定昇・賃金カーブ維持相当分 : 約2%
- ②過年度物価上昇分、生産性向上など : 1%以上
- ③格差是正・配分のゆがみ是正 : 1%目安

連合群馬総体として春闘へ取り組むため、1月18日、前橋市総合福祉会館において2014トータルライフアップ全県集会を開催し、産別・地協から289名が参加、連合本部方針を共有するとともに、代表産別から決意表明を行いました。

北川会長あいさつ

賃上げを実現し、景気の好循環へ！

消費税増税は、様々な物価が上がり負担は増えることとなります。当然、収入が増えなければ消費に結びつかないため、収入を増やすことは大切です。



今こそ、従来の労使協議の話し合いに、もう一枚上乗せし、生産性向上や試練を共に乗り越えてきた組合員の働き方を組合リーダーは会社へ訴え、賃上げ実現に向け交渉を進めていきましょう。連合群馬は、群馬県全体が成果のある取り組みとなるよう情報発信をしていきます。

連合本部 労働条件・中小労働対策局 松本局長

2月中に要求提出を！



デフレ脱却には、賃金の引き上げにより個人消費を拡大し、景気の好循環を作りださなくてはなりません。今年の春闘は、2015年、2016年に向けた重要なステップです。労使交渉は3月末までが勝負。4月以降は消費税増税により消費が落ち込み、交渉に不利な条件となってしまうため、2月中に要求を提出することが必要です。

産別・地協のネットワークを活用し、情報交換をしながら、前進していただきたい。

産別代表による決意表明

■全労金 労金労組 石川統括支部長

格差是正として、臨時職員は少なくとも勤続3年目には、時給換算で1,000円水準となるような制度の見直しを行います。



ワークライフバランスの実現を目指し、年間所定労働時間1,800時間に向け計画的に取り組んでいきます。

■JEC連合 日本カーリット労組赤城支部 金子執行委員長

ベースアップ（物価上昇相当分1%、水準回復分1%）を要求し、ワークライフバランスの実現のため、年間所定労働時間1,900時間未満を目標に取り組みます。底上げ・格差是正として、企業内年齢別最低保障賃金について、すべての組合で協定化を進めます。



■基幹労連 IHI労連富岡支部 伊藤執行委員長

賃金改善分については、2年分をまとめて要求します（2014・2015年共に3,500円）。



「頼れる産別、賃金引き上げによる経済の好循環、人への投資」を合言葉に、賃金改善の追及にこだわり、取り組みを展開したい。

■ユニオン 三益半導体工業労組 秋山副執行委員長

会社の利益を上げてきたのは、組合員の努力や協力があったことです。組合員の意見を会社に伝え、労働組合結成の原点に立ちかえり春闘に臨みます。

